

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[MIC を解決して下さい](#)

[MIC はインストールされていますか。](#)

[インストールされない MIC](#)

[インストールされる MIC](#)

[リカバリ手順](#)

[コンパクト フラッシュを解決して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に Cisco TelePresence システムの製造業者インストール済み認証 (MIC) 問題を解決する方法を記述されています (CTS および TX シリーズ) 。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco TelePresence システム、CTS または TX シリーズ
- Cisco Unified Communications Manager (CUCM)

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

デジタル X.509v3 認証は Cisco 認証局によって署名し、サポートされた電話に Cisco 製造によってインストールされる MIC です。MIC は認証局 プロキシ 機能 (CAPF) への認証機構としてローカルで固有の認証 (LSCs) が電話にインストールされている場合使用されます。

MIC が認証で使用されるので、MIC エラーは CTS/TX シリーズ エンドポイントと CUCM 間のセキュアコミュニケーションを中断する場合があります。もっとも一般的な現象はセキュア モードの CUCM に登録することができないことです。もっとも一般的な原因は次のとおりです:

1. 製造にインストールされる不適当な MIC
2. 損失または破損した MIC
3. コンパクト フラッシュにおいての問題

ほとんどの MIC エラーは、原因に関係なくブートの間に、sysop ログのこのメッセージを表示する:

admin GUI インターフェイス sysop ログインを表示できます。Certificate エラーとあふれる sysop ログがまた表示されるかもしれません (以下を参照):

または

MIC を解決して下さい

その場合 MIC がインストールされている MIC がインストールされているかどうか判別すれば。

MIC はインストールされていますか。

Command Line Interface (CLI) `show hardware system` コマンドの出力を調べることができます:

ログをダウンロードするとき視認できるまた `showsysinfo.log` を参照できます:

```
Mfg_Installed_Cert=INFO:No certificate found
```

インストールされない MIC

MIC がない場合、製品およびソフトウェアに適用する場合 Field Notice 63636"を [Cisco TelePresence システム ソフトウェアのインストールの間に削除される製造業者インストール済み認証 \(MIC \) バージョン 1.9\(X\) および それ以降](#)」読み、設定して下さい。

MIC がないし、Field Notice が適用されなかったら、[リカバリ ステップ](#)を使用して下さい。

インストールされる MIC

MIC がある場合、CLI `show tech system` コマンドからの出力としてリストされているマシン名と SEP から始まる `Mfg_Installed_Cert` のマシン名部分を比較して下さい。この例では、名前は一致する:

```
Mfg_Installed_Cert=CN=CTS-CODEC-PRIM-SEP001D4526E0CA
```

```
admin:show tech system
----- show platform system -----
Machine Name: SEP001DA238B730
```

名前が一致する場合、[リカバリ ステップ](#)を使用して下さい。

リカバリ手順

このプロシージャは工場出荷時の設定にシステムをリセットする方法を記述します。

1. 管理者アカウントへのアクセス権を得るためにセキュア シェル (SSH) を使用して下さい。
。

注 どの静的なネットワークコンフィギュレーションでもステップ 2.の後で消されます。

2. `utils` システム ファクトリ `init` コマンドを入力して下さい。

```
Mfg_Installed_Cert=CN=CTS-CODEC-PRIM-SEP001D4526E0CA
```

```
admin:show tech system
----- show platform system -----
Machine Name: SEP001DA238B730
```

3. 新たに生成された認証がマシン名と一致することを確認して下さい。

4. admin GUI へのログイン エンドポイントを再構成するため。エンドポイントは CUCM と今すぐに登録する必要があります。

注 新しい MIC がインストールされていた後カメラおよびオーディオ口径測定を行って下さい。

コンパクト フラッシュを解決して下さい

破損したコンパクト フラッシュ 記憶装置はまたセキュア モードの CUCM に登録する不可能のための原因であるかもしれません。これは `rc.log` に見られるように破損したファイルシステムの例です:

```
Mfg_Installed_Cert=CN=CTS-CODEC-PRIM-SEP001D4526E0CA
```

```
admin:show tech system
----- show platform system -----
Machine Name: SEP001DA238B730
```

関連情報

- [Field Notice : FN は- 63636 -製造業者 Cisco TelePresence システム ソフトウェアのインストールの間に削除された認証 \(MIC \) をバージョン 1.9\(X\) およびそれ以降インストールしま](#)

した

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)